



○2年生の数の授業が盛り上がっています。

「できた!」「新記録!」「先生見て!」

数の授業の度に、こんな子どもたちの嬉しい声を聞くことができます。

数の授業は、1~4年生で実施している足し算と引き算などの基礎計算の能力を伸ばすための授業で、1回15分の授業を週に3回のペースで行っています。

毎回同じ計算プリントに取り組むため、前回の自分と比べ、速くなったり、たくさん解けたり、簡単になったりと児童が成長を実感しやすく、楽しみながらたくさんの問題を解いています。

○2年生の算数の重要性

算数では、小学校6年間でたくさんの内容を学習しますが、2年生の計算はとても重要です。足し算や引き算の筆算と、かけ算の学習があるからです。そしてそれらは、3年生以降の計算の様々な場面で登場します。

3年:わり算、あまりのあるわり算。かけ算の筆算

4年:3桁±3桁の足し算と引き算の筆算、わり算の筆算、小数×整数、小数÷整数

5年:倍数、約数、通分、約分、分数の足し算と引き算、小数×小数、小数÷小数

6年:分数×分数、分数÷分数、

6年生~中学校数学になると、活用的な問題が中心になるため、四則計算のような基本計算は1~4年生までにしっかりと身に付けておく必要があります。また、発達段階的に、4年生までは「覚える」「繰り返す」のような学習を楽しんで取り組める傾向にあります。本校の「数」の授業が1~4年生に設定されているのもここに関係しています。

2年生として過ごすこの1年で計算能力を伸ばし、「算数が大好き」「計算が楽しい」「自分は算数が得意」といった、自信と意欲を大いに持たせてあげたいです。

○家庭学習で取り組むとさらに効果アップ!

子どもたちは数の時間に以下のレベルのものに取り組んでいます。

- ・5級 足し算(くり上がりあり)
- ・6級 引き算(くり下がりあり)
- ・7級 足し算(2桁+1桁)
- ・8級 引き算(2桁-1桁)

そのレベルを2分以内で1枚解き終わるとレベルアップします。2分以上かかる場合は、まだ頭の中で数えていたり、よく考えないと分からなかったりする問題があるので、繰り返し取り組むことになります。

家庭でも取り組むとより効果的です。以下に授業で使用しているもののデータがありますので、よろしければご家庭でもお取り組み下さい。お声かけいただければ印刷したものをお子様にお渡しいたします。

https://drive.google.com/drive/folders/1hSy_RR2dmlXt1rnHQNPq23BgK4FQsXjS

○かけ算の学習について

今週からかけ算の学習が始まります。かけ算は計算力というより暗記力がものを言うため、足し算引き算と並行して実施していきます。長期的に継続して取り組むことで、完全な定着を図ります。

すでに九九を全て覚え、バラバラ九九の問題を全て解けた児童については、少人数クラスでかけ算を利用した問題に取り組んでいきます。(かけ算の学習が終了したら、このクラスは再編します)

家庭でのおすすめの九九の学習法についても、連休前にお知らせさせていただきます。